

H	保安体制
※ 要請の詳細は、別冊「H. 保安体制(詳細)」に収録	
H01-1	テロによる攻撃・ハイジャック・爆発物・NBC テロに関する防止対策、および空港とその周辺の警備対策と検査は、国の責任で行うこと。
H01-1-(1)	テロ・ハイジャック対策は、機長の判断および乗客・乗員の人命尊重、飛行の安全確保を最優先して策定すること
H01-1-(2)	テロ対策について、現場の説明と意見聴取を図る機会と体制を作るとともに、航空関係者(管制、空港、消防・救急、各航空会社社員等)の総合訓練を定期的に各空港で行うこと
H01-1-(3)	東京オリンピックに伴う保安対策は、現場の参加、周知徹底を図ること
H01-2	航空輸送に対するサイバーテロ対策を行うこと
H01-2-(1)	ガイドライン、規定を策定し、特化した対策が必要である
H01-2-(2)	空域ごとに対応策を作り、訓練を行うことが必要である
H01-2-(3)	直ちに代替措置を取ることが可能な対策を準備する必要がある
H01-2-(4)	航空機、航空管制、航空会社の連携が重要であり、国、企業のセキュリティ担当者のみでなく、乗員、整備、管制官などの現場が、サイバー攻撃を具体的な脅威として捉えて、危機意識を持つことが重要である
H01-3	「航空機へのレーザー照射」対策を行うこと
H01-3-(1)	レーザー照射に関する法制化を図ること
H01-3-(2)	空港周辺に「no-laser zone」の設置が必要である
H01-4	航空機への MANPADS 対策を行うこと
H01-5	制限区域での作業従事者に関する身元確認の義務化について法制化を行うこと
H02	空港における保安対策
H02-1	国の責任と管理により、制限区域、クリーンエリアおよび航空機に立ち入る人、物に対して徹底した保安検査を行うこと
H02-2	乗務員、空港職員の保安検査の効率化を図る配慮を実施すること。そのために空港のレイアウトも考慮すること
H03	危険物輸送への対策

H03-1	航空貨物の安全性の確保を行うこと
H03-2	危険品輸送に関する啓蒙活動、危険物の紛失・盗難防止策を行うこと
H04	航空機内の保安対策
H04-1	ICAO基準で構築された安全優先の保安対策を取れる体制を作ること
H04-2	航空関係者(乗務員・旅客担当者・整備士・機内作業員・Security 担当者等)の訓練を定期的に各 TYPE の航空機内で行うこと